

TSE:9531



2021年度（2022年3月期）
第1四半期決算説明会

2021年7月28日





01

**2021年度
第1四半期決算実績概要**

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. 

2021年度1Q実績 (連結) (2021.4.1 - 2021.6.30) 対前年度実績

3

ポイント 減収減益

(+/-▲は利益に対する影響を示す, 億円)

売上高	▲74	原料費調整に伴う都市ガス単価減 等。
営業費用	+51	原油価格下落の影響 等。
営業利益	▲23	フレーム影響に伴う都市ガス単価差による粗利減、固定費増 等。
特別損益	+47	当期 0 前期 ▲47：(特別損失)減損損失▲47

		(単位: 億円)						
		2021年度1Q	2020年度1Q	増減	%	経済フレーム	2021年度1Q	2020年度1Q
都市ガス販売量 (百万m ³ 、45MJ)		2,845	2,656	189	7.1	為替レート(¥/\$)	109.52 (+1.88)	107.64
電力販売量 (百万kWh)		5,858	5,231	627	12.0	原油価格(\$/bbl)	66.91 (+34.65)	32.26
内訳						平均気温 (°C)	17.8 (+1.2)	16.6
小売 (百万kWh、需要端)		2,091	2,148	▲57	▲2.6			
卸他 (百万kWh)		3,766	3,083	683	22.2			
売上高		4,082	4,156	▲74	▲1.8	年金		2021年度1Q
営業費用		3,830	3,881	▲51	▲1.3	運用利回り ※コスト控除後		1.26%
営業利益		251	274	▲23	▲8.3	期末資産 (億円)		2,650
セグメント利益 (営業利益+持分法損益)		259	278	▲19	▲6.8			
経常利益 …①		231	280	▲49	▲17.7			
特別損益		0	▲47	47	—			
親会社株主に帰属する当期純利益		158	163	▲5	▲3.5			
親会社株主に帰属する当期純利益		▲39	▲1	▲38	—			
補正項目		▲118	▲75	▲43	—			
スライドタイムラグ …③ (都市ガス+LNG販売)		(▲111+▲7)	(▲69+▲6)	(▲42+▲1)				
年金数理差異償却額 …④		27	2	25	—			
補正経常利益 …①- (②+③+④)		361	354	7	2.0			

※2021年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2021年3月期第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

<期待運用収益率：2%>

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

第1四半期の業績は「減収減益」となりました。

売上高は、▲74億円減となりました。これは、「ガスセグメント」における原料費調整に伴う都市ガス単価減等が主な要因です。

営業費用は、▲51億円減となりました。これは、「ガスセグメント」における原油価格下落の影響等が主な要因です。

この結果、営業利益は▲23億円減、経常利益は▲49億円減となり、特別損益において+47億円を計上し、法人税等を控除した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、▲5億円減の158億円となりました。

2021年度1Q 実績 (連結) ガス販売量・件数

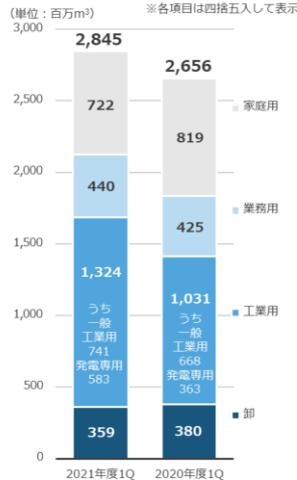
対前年度実績

4

都市ガス販売量

189百万m³
(7.1%)の増加
うち気温影響
▲66百万m³、▲2.5%の減少

■家庭用	▲97百万m ³ (▲11.9%)
気温要因	▲53百万m ³
日数影響	▲1百万m ³
お客さま件数	▲21百万m ³
その他	▲22百万m ³
■業務用	+15百万m ³ (+3.5%)
気温要因	▲12百万m ³
日数影響	+1百万m ³
お客さま件数	▲5百万m ³
その他	+31百万m ³
■工業用	+293百万m ³ (+28.4%)
一般工業用	+72百万m ³
発電専用	+220百万m ³
■卸	▲21百万m ³ (▲5.6%)
気温要因	▲1百万m ³
その他	卸供給先の需要減等



件数、LNG販売量、平均気温

	2021年度1Q実績	2020年度1Q実績	増減
小売お客さま件数 (万件) ※1	881.8	904.4	▲22.6 (▲2.5%)
取付メーター数 (万件) ※2	1,210.3	1,197.5	+12.8 (+1.1%)
LNG販売量 (千t)	167	221	▲54 (▲24.4%)
平均気温 (°C)	17.8	16.6	+1.2

※1 ガス小売事業者としてのガス料金請求対象件数
※2 休止中・閉鎖中・他社小売分を含む導管事業者としてのメーター取付数

販売・自家使用量 (百万m³)

	2021年度1Q実績	2020年度1Q実績	増減
都市ガス販売量	2,845	2,656	+189 (+7.1%)
トレーニングによるガス自家使用量	634	669	▲35 (▲5.3%)
LNG販売量 (m ³ 換算)	209	276	▲67 (▲24.4%)
合計	3,688	3,602	+86 (+2.4%)

当社 (連結) 都市ガス 小売お客さま件数推移 (万件)

	2017.3	2017.6	2017.9	2017.12	2018.3	2018.6	2018.9	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6
件数 (増減)	1,026.9 (+)	1,031.4 (+4.5)	1,028.9 (▲2.5)	1,029.6 (+0.7)	1,020.9 (▲8.7)	1,018.9 (▲2.0)	1,008.9 (▲10.0)	998.2 (▲10.7)	982.1 (▲16.1)	960.7 (▲21.4)	940.5 (▲20.2)	925.9 (▲14.6)	912.9 (▲13.0)	904.4 (▲8.5)	897.5 (▲6.9)	893.5 (▲4.0)	886.3 (▲7.2)	881.8 (▲4.5)

小売全面自由化 (2017.4)

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.



ガス販売量についてご説明いたします。

第1四半期のガス販売量は、+7.1%増となりました。

4月の高気温等、気温影響により▲2.5%減少したものの、工業用で+28.4%増となりました。これは主に発電専用の顧客獲得による販売量増が主な要因です。

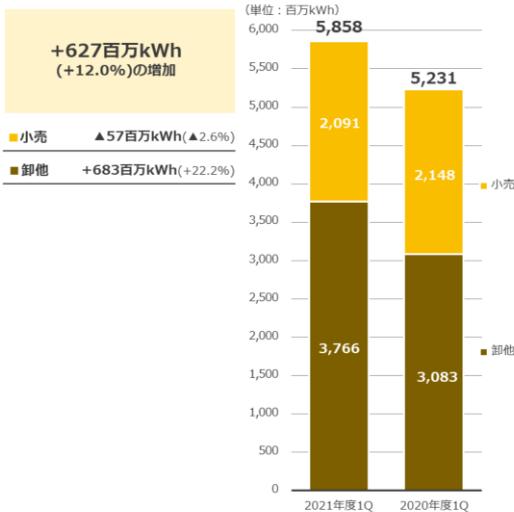
新型コロナ影響は、家庭用・業務用・卸における「その他」に、一部含まれており、家庭用においては、巣ごもりによる需要増が減少しました。また、業務用においても、引き続き主に飲食店・ホテル等での需要減があるものの、その影響は減少し販売量は増加しました。

2021年度1Q実績 (連結) 電力販売量・件数

対前年度実績

5

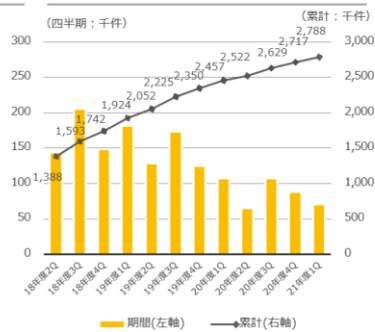
電力販売量



※各項目は四捨五入して表示

小売件数実績

※小売件数 = 電力料金請求対象件数



「キャンペーン」実施期間

2020年度	2021年度
夏： 2020/6/2～2020/7/20	夏： 2021/6/23～2021/9/30
2020/7/30～2020/10/26	
秋： 2020/10/30～2020/12/25	
冬： 2021/1/7～2021/2/22	

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

電力販売量についてご説明いたします。

第1四半期の電力販売量は、全体では+12.0%増となりました。

小売においては、契約件数の増加による販売量増があったものの、収益認識基準変更により、▲2.6%減となりました。収益認識基準変更による減少は、控除する3月後半の販売量が、繰り入れる6月後半の見積もり販売量よりも大きかったことによるものです。

卸他については、新電力等への販売増加により+22.2%増となりました。

2021年度1Q実績 (セグメント別) 売上高・利益

対前年度実績

6

(単位: 億円)

	売上高				セグメント利益 (営業利益 + 持分法損益)			
	2021年度 1Q実績	2020年度 1Q実績	増減	%	2021年度 1Q実績	2020年度 1Q実績	増減	%
ガス	2,732	2,849	▲117	▲4.1	212	277	▲65	▲23.4
(都市ガス)	2,276	2,408	▲132	▲5.5	180	298	▲118	▲39.5
(LNG販売)	343	361	▲18	▲5.1	24	▲16	40	—
電力	812	891	▲79	▲8.9	35	29	6	19.1
海外	205	119	86	71.6	57	27	30	106.5
(持分法損益)	—	—	—	—	5	1	4	305.3
エネルギー関連	692	726	▲34	▲4.7	21	14	7	54.1
(インフラプロジェクト)	289	294	▲5	▲1.6	11	2	9	355.1
不動産 (持分法損益含む)	140	111	29	26.1	42	32	10	31.4
その他 (持分法損益含む)	240	266	▲26	▲10.0	▲8	13	▲21	—
調整額	▲741	▲809	68	—	▲102	▲117	15	—
セグメント合計額	4,082	4,156	▲74	▲1.8	259	278	▲19	▲6.8
(持分法損益)	—	—	—	—	7	3	4	108.5

[注] ・セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。

・「ガス」には、都市ガス、液化石油ガス、産業ガス、LNG販売、トレーディング等を含みます。「エネルギー関連」には、インフラプロジェクト、ガス器具、

ガス工事、建設、クレジット等を含みます。「その他」には、情報処理サービス、船舶等を含みます。

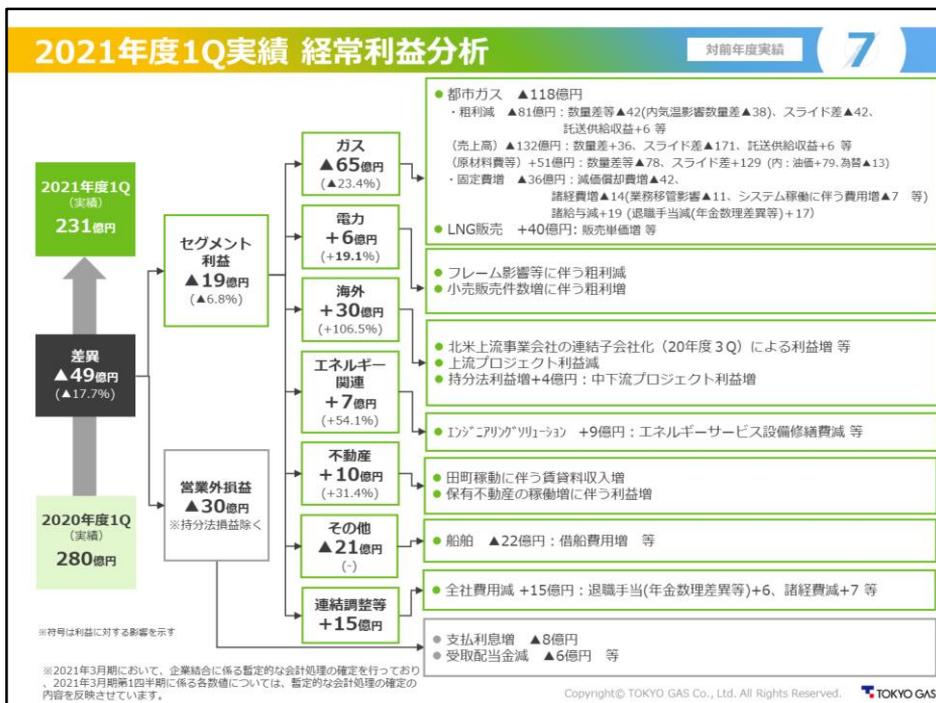
・セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。

※2021年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2021年3月期第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

セグメント別の売上高、および営業利益に持分法損益を加えたセグメント利益とその増減を記載しております。

セグメント利益については、「ガスセグメント」における▲65億円減が主な要因です。



ガスセグメントの▲65億円の減益は、気温影響等による販売量減等と、原料価格の変動に伴うスライドタイムラグの拡大による粗利減、減価償却費増等による固定費増が主な要因です。

電力セグメントは、小売り件数増等による増益があったものの、フレーム影響等による粗利減により、+6億円の増益となりました。

海外セグメントは、北米上流事業会社の連結化等による増益があったものの、油価が前年と比べて低く推移したことともなう上流プロジェクトの利益減等により、+30億円の増益となりました。

不動産セグメントは、田町稼働にともなう賃貸料収入増等による利益増により、+10億円の増益となりました。

その他セグメントにおいては、船舶の稼働減や配船計画変更に伴う借船費用増等により、▲21億円の減益となりました。



02

2021年度通期見通し

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. 

2021年度見通し（連結）（2021.4.1 - 2022.3.31）

9

ポイント 増収増益(対前回見通し)

(+/▲は利益に対する影響を示す, 億円)

	対前回 見通し	
売上高	+1,360	原料費調整に伴う都市ガス単価増、都市ガス販売量増 等。
営業費用	▲1,310	原油価格上昇の影響、都市ガス販売量増 等。
営業利益	+50	海外上流プロジェクト（豪州・北米）による利益増 等。
特別損益	-	

	(単位: 億円)							
	見通し	前回 見通し	増減	%	前年度 実績	増減	%	
都市ガス販売量 (百万m ³ , 45MJ)	12,276	12,054	222	1.8	12,990	▲714	▲5.5	
電力販売量 (百万kWh)	27,579	26,640	939	3.5	24,761	2,818	11.4	
売上高	19,520	18,160	1,360	7.5	17,651	1,869	10.6	
営業費用	18,600	17,290	1,310	7.6	16,874	1,726	10.2	
営業利益	920	870	50	5.7	776	144	18.4	
セグメント利益 (営業利益+持分法損益)	948	865	83	9.6	791	157	19.8	
経常利益 …①	830	720	110	15.3	705	125	17.7	
特別損益	0	0	—	—	▲43	43	—	
親会社株主に帰属する当期純利益	600	520	80	15.4	495	105	21.2	
気温影響 …②	▲39	0	▲39	—	▲54	15	—	
補正項目 スライドタイムラグ …③ (都市ガス+LNG販売)	▲248 (▲224+ ▲24)	▲185 (▲169+ ▲16)	▲63 (▲55+▲8)	—	▲121 (▲120+ ▲1)	▲127 (▲104+ ▲23)	—	
年金取埋差異償却額 …④	111	111	0	—	8	103	—	
補正経常利益 …①-②+③+④	1,006	794	212	26.7	872	134	15.4	

経済フレーム	見通し	前回 見通し	前年度 実績
為替レート (¥/\$)	109.88 (+4.88)	105.00	106.10
原油価格 (\$/bbl)	65.48 (+10.48)	55.00	43.35
平均気温 (℃)	16.4 (+0.3)	16.1	16.5

*2Q以降：原油価格65.00\$/bbl、為替レート110円/\$

年金	2020 年度	2019 年度	2018 年度
運用利回り ※コスト控除後	4.94%	0.33%	1.65%
割引率 年金分	0.318%	0.264%	0.156%
一時 金分	0.075%	0.012%	0.000%
期末資産 (億円)	2,630	2,590	2,670

<期待運用収益率：2%>

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

2021年度通期につきましては、「増収増益」と見通しております。
見通しの前提となる7月以降の経済フレームは、為替レートを
1ドル105円から110円に、原油価格については1バレル55ドル
から65ドルに、それぞれ変更しております。

売上高は+1,360億円増と見通しております。これは、「ガスセグ
メント」における、原料費調整に伴う都市ガス単価増、都市ガス販売量
増等が主な要因です。

営業費用は+1,310億円増と見通しております。これも原油価格上昇
の影響、都市ガス販売量増等が主な要因です。

この結果、営業利益は+50億円増、経常利益は+110億円増となり、
親会社株主に帰属する当期純利益は、+80億円増の600億円と見通
しております。

2021年度見通し (連結) ガス販売量・件数

10

都市ガス販売量



件数、LNG販売量、平均気温

	見通し	前回見通し	増減	前年度実績	増減
取付メーター数 (万台) ※1	1,221.3	1,221.3	0	1,208.3	+13.0 (+1.1%)
LNG販売量 (千t)	1,146	1,121	+25 (+2.2%)	1,103	+43 (+3.9%)
平均気温 (°C)	16.4	16.1	+0.3	16.5	▲0.1

※1 休止中・閉校中・他社小売分を含む導管事業者としてのメーター取付数

販売・自家使用量 (百万m³)

	見通し	前回見通し	増減	前年度実績	増減
都市ガス販売量	12,276	12,054	+222 (+1.8%)	12,990	▲714 (▲5.5%)
トーリングによるガス自家使用量	3,009	2,975	+34 (+1.1%)	3,208	▲199 (▲6.2%)
LNG販売量 (m換算)	1,432	1,401	+31 (+2.2%)	1,379	+53 (+3.9%)
合計	16,717	16,430	+287 (+1.7%)	17,577	▲860 (▲4.9%)

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

見通しのベースとなるガス販売量の見通しについてです。

ガス販売量は、前回見通しとの対比で+1.8%増を見込んでいます。主に発電専用のお客さまにおける稼働増等、家庭用以外の分野における販売量増を見込んでおります。

2021年度見通し (連結) 電力販売量・件数

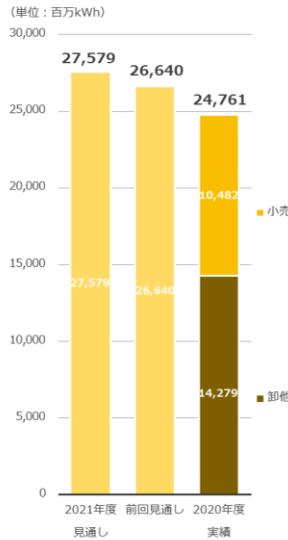
電力販売量

対前回見通し

+939百万kWh
(+3.5%)の増加

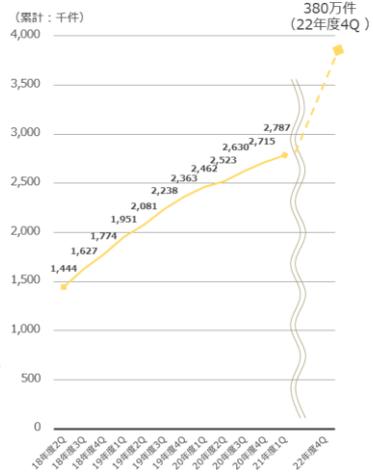
対前年実績

+2,818百万kWh
(+11.4%)の増加



小売件数

※小売件数 = 供給中件数



※各項目は四捨五入して表示

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

電力販売量についてご説明いたします。

電力販売量は、前回見通しとの対比で+3.5%増を見通しており、主に卸他の販売量増を見込んでおります。

2021年度見通し (セグメント別) 売上高・利益

対前回見通し

12

(単位: 億円)

	売上高				セグメント利益 (営業利益 + 持分法損益)			
	見通し	前回見通し	増減	%	見通し	前回見通し	増減	%
ガス	12,615	11,440	1,175	10.3	768	794	▲26	▲3.3
(都市ガス)	10,326	9,469	857	9.1	706	749	▲43	▲5.7
(LNG販売)	1,843	1,543	300	19.4	29	38	▲9	▲22.1
電力	4,286	3,889	397	10.2	167	139	28	20.1
海外	789	728	61	8.4	176	76	100	131.6
(持分法損益)	—	—	—	—	18	▲11	29	—
エネルギー関連	3,356	3,297	59	1.8	166	165	1	0.6
(インフラプロジェクト)	1,358	1,277	81	6.3	41	41	0	—
不動産 (持分法損益含む)	578	596	▲18	▲3.0	127	126	1	0.8
その他 (持分法損益含む)	996	981	15	1.5	▲1	12	▲13	—
調整額	▲3,100	▲2,771	▲329	—	▲455	▲447	▲8	—
セグメント合計額	19,520	18,160	1,360	7.5	948	865	83	9.6
(持分法損益)	—	—	—	—	27	▲5	32	—

[注] ・セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
 ・「ガス」には、都市ガス、液化石油ガス、産業ガス、LNG販売、トレーディング等を含みます。「エネルギー関連」には、インフラプロジェクト、ガス器具、ガス工事、建設、クレジット等を含みます。「その他」には、情報処理サービス、船舶等を含みます。
 ・セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

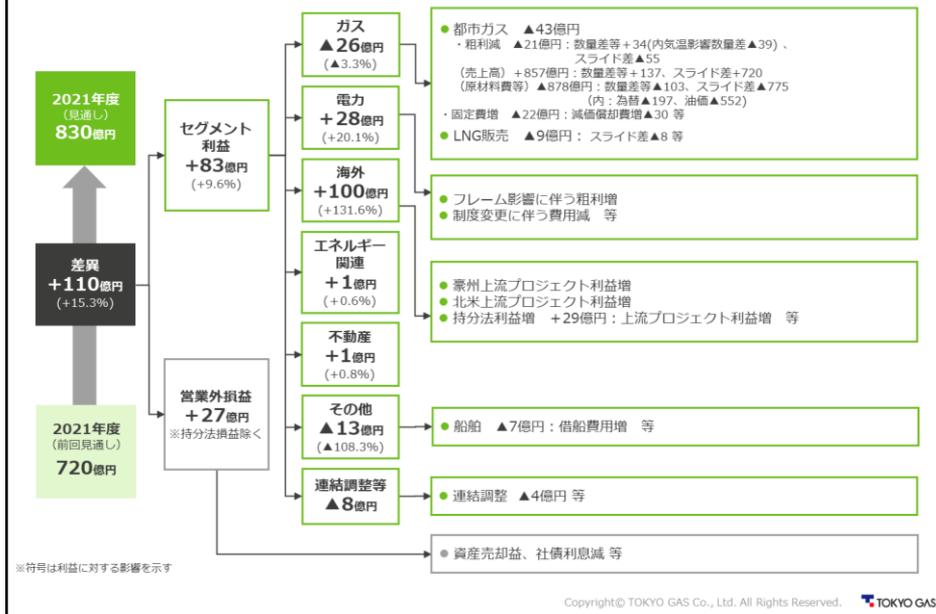
セグメント別の売上高および利益の見通しと、前回見通しに対する増減を記載しております。

セグメント利益は前回見通しに対して + 83 億円増と見通しております。

2021年度見通し 経常利益分析

対前回見通し

13



ガスセグメントは▲26億円の減益を見通しています。これは、原料価格の変動に伴うスライドタイムラグの拡大による粗利減、減価償却費増等の固定費増が主な要因です。

電力セグメントはフレーム影響や制度変更に伴う非化石証書費用減等により、+28億円の増益を見通しています。

海外セグメントでは、フレーム変更に伴う豪州・北米上流プロジェクトの利益増等により、+100億円の増益を見通しています。

2021年度見通し (セグメント別) 売上高・利益

対前年度実績

14

(単位: 億円)

	売上高				セグメント利益 (営業利益 + 持分法損益)			
	見通し	前年度実績	増減	%	見通し	前年度実績	増減	%
ガス	12,615	11,467	1,148	10.0	768	884	▲116	▲13.2
(都市ガス)	10,326	9,677	649	6.7	706	956	▲250	▲26.2
(LNG販売)	1,843	1,394	449	32.2	29	▲74	103	—
電力	4,286	3,959	327	8.3	167	86	81	92.0
海外	789	459	330	71.8	176	38	138	351.8
(持分法損益)	—	—	—	—	18	4	14	262.8
エネルギー関連	3,356	3,394	▲38	▲1.1	166	170	▲4	▲2.6
(インフラプロジェクト)	1,358	1,397	▲39	▲2.8	41	66	▲25	▲37.9
不動産 (持分法損益含む)	578	484	94	19.4	127	75	52	68.3
その他 (持分法損益含む)	996	1,104	▲108	▲9.8	▲1	38	▲39	—
調整額	▲3,100	▲3,218	118	—	▲455	▲502	47	—
セグメント合計額	19,520	17,651	1,869	10.6	948	791	157	19.8
(持分法損益)	—	—	—	—	27	14	13	88.5

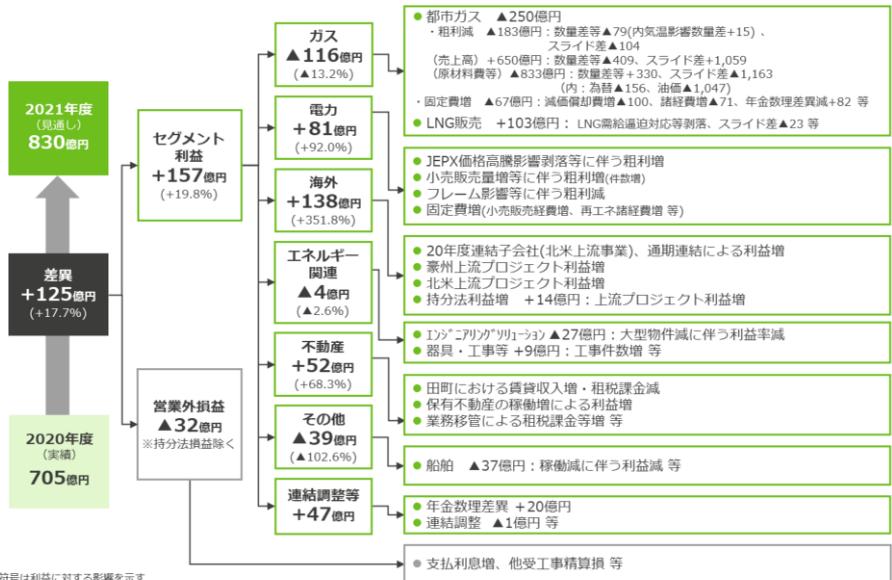
[注] ・セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
 ・「ガス」には、都市ガス、液化石油ガス、産業ガス、LNG販売、トレーディング等を含みます。「エネルギー関連」には、インフラプロジェクト、ガス器具、ガス工事、建設、クレジット等を含みます。「その他」には、情報処理サービス、船舶等を含みます。
 ・セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

2021年度見通し 経常利益分析

対前年度実績

15



2021年度見通し（連結）キャッシュ・フローの使途（設備投資と投融資） 16

(単位: 億円)

	見通し	主な件名	前回見通し	増減	%	前年度実績	増減	%
ガス	1,340	製造設備 104 : その他製造設備 等 供給設備 872 : 需要開発 等 業務設備等 363 : システム関連 等	1,340	0	—	1,490	▲150	▲10.1
設備	135	国内再エネ 等	135	0	—	145	▲10	▲6.6
海外	587	上流（豪州・北米）、海外再エネ 等	587	0	—	488	99	20.2
投資	237	TGESエネルギーサービス事業 等	237	0	—	155	82	52.9
不動産	184	不動産賃貸事業、建物改修 等	184	0	—	173	11	6.3
その他	22		22	0	—	43	▲21	▲48.7
調整額	▲48		▲48	0	—	▲33	▲15	—
計	2,460		2,460	0	—	2,464	▲4	▲0.2
ガス	0		0	0	—	0	0	—
設備	69	国内再エネ、海外電力小売企業への出資 等	69	0	—	601	▲532	▲88.5
海外	302	上流（豪州）、中下流（アジア）、海外再エネ 等	292	10	3.4	142	160	112.6
投資	82	TGESエンジニアリング事業 等	87	▲5	▲5.7	102	▲20	▲19.6
不動産	12		12	0	—	3	9	300.0
その他 (無件名含む)	719		724	▲5	▲0.6	5	714	—
計	1,184		1,184	0	—	853	331	38.8
設備投資・投融資 (回収含まず)合計	3,644		3,644	0	—	3,317	327	9.8
回収 計	33		30	3	10.4	32	1	2.2
設備投資・投融資 (相殺後)合計	3,610		3,614	▲4	▲0.1	3,285	325	9.9

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

2021年度におけるキャッシュフローの使途の見通しをお示ししております。

主要計数表（連結）

17

(単位: 億円)

	2021年度見通し	2020年度実績	2019年度実績
総資産(a)	28,950	27,383	25,399
自己資本(b)	12,100	11,538	11,477
自己資本比率(b)/(a)	41.8%	42.1%	45.2%
有利子負債(c)	12,510	10,659	9,050
D/Eレシオ(c)/(b)	1.03	0.92	0.79
親会社株主に帰属する当期純利益(d)	600	495	432
1株当たり当期純利益(円/株)	136.42	112.26	97.86
減価償却(e)	1,950	1,798	1,698
営業キャッシュ・フロー(d)+(e)	2,550	2,293	2,131
投資			
設備投資	2,460	2,464	2,270
投融資(回収含まず)	1,184	853	598
計	3,644	3,317	2,868
ROA (d)/(a)	2.1%	1.9%	1.7%
ROE (d)/(b)	5.1%	4.3%	3.8%
WACC	2.4%	2.6%	2.7%
総分配性向	—	60.1%	61.0%

注: 自己資本 = 純資産 - 非支配株主持分
 ROA = 純利益/総資産 (期首・期末平均)
 ROE = 純利益/自己資本 (期首・期末平均)
 BS関連数値は各期末時点の数値
 営業キャッシュフロー = 純利益 + 減価償却 (長期前払費用償却含む)
 総分配性向 = [N年度の配当 + (N+1)年度の自社株取得] / N年度の連結純利益

■ WACC算定諸元(2021年度見通し)
 a)有利子負債コスト 実績金利0.71%(税引後)
 b)株主資本コスト率
 c)リスクフリーレート 10年国債利回 0.02%
 d)マーケットリスクプレミアム 5.5% β値 0.75

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

連結ベースの主要計数を掲載しております。



参考資料として、経済フレーム感度表に加え、原油価格・為替レート、本年度の本日までの主なプレスリリース、主な海外投資案件等を掲載しておりますので、ご参照ください。

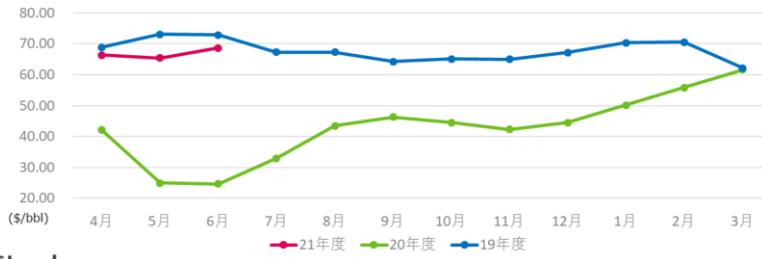
原油価格JCCが\$1/bbl上昇する場合

		収支影響時期			(単位: 億円)
		第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
変 動 時 期	第2四半期	▲1	▲8	+5	▲4
	第3四半期	—	▲1	▲9	▲10
	第4四半期	—	—	▲1	▲1
	通期	▲1	▲9	▲5	▲15

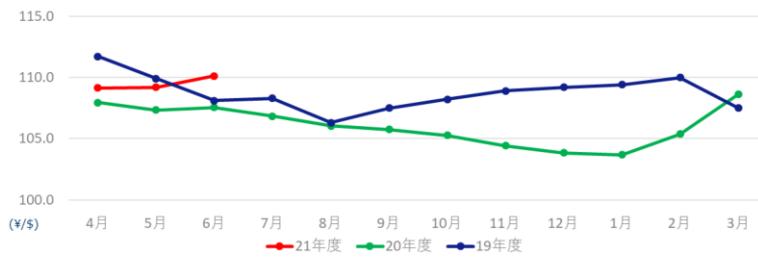
円ドルレートが¥1/\$円安になる場合

		収支影響時期			(単位: 億円)
		第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
変 動 時 期	第2四半期	▲5	+5	+3	3
	第3四半期	—	▲7	+5	▲2
	第4四半期	—	—	▲9	▲9
	通期	▲5	▲2	▲1	▲8

原油価格 (JCC)



為替レート



2021年度 主なトピックス (7月28日まで、プレスリリース等より抜粋)

21

全般 (ESG含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・定款一部変更に関するお知らせ(4/28) ・会社分割（吸収分割）に関するお知らせ(4/28) ・会社分割（吸収分割）に関するお知らせ(5/19) ・株式報酬制度の導入に関するお知らせ(6/29) ・株式報酬制度における株式取得に関する事項の決定に関するお知らせ(7/28) ・株式報酬制度の導入に伴う第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ(7/28)
ガス・電力 (ESG含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・茨城県鹿島沿岸上風力発電事業の推進について(4/5) ・日本版洋上風力発電の早期実現に向けた九州大学等との産学共同研究への参画について(4/19) ・東京ガスとNTT東日本の協業による道路埋設物調査・道路工事会社の共同受付の開始について(4/26) ・低圧電気料金メニュー「基本プラン」の新設について(5/13) ・実質再生可能エネルギー100%の電気料金プラン「さすてな電気」を新たに開始(6/3) ・日本初となるカーボンニュートラル都市ガスプランの第三者検証報告書の受領について(6/15) ・KAWASAKI DELTA「サステイナブルなまちづくり」の実践(6/25) ・山口県岩国市におけるメカソーラーの商業運転開始について(7/1) ・東京2020大会 選手村へのカーボンニュートラル都市ガスの供給(7/13) ・「宇都宮ライトパワー株式会社」の設立について(7/13) ・家庭向けデマンドレスポンスの実証開始について(7/20)
サービス (ESG含む)	<ul style="list-style-type: none"> ◆エンジニアリングソリューション <ul style="list-style-type: none"> ・東京ガス野村不動産エナジー株式会社設立について(4/5) ・宮城県仙台市バイオマス専焼火力発電所におけるオーナー支援業務および運転管理業務の委託契約締結について(4/7) *1 ・太陽光発電アセットマネジメント業務の高度化を図る実証事業の実施について(4/26) *1 ・家庭用燃料電池「エネファーム」および準商用蓄電池の群制御によるバーチャルパワープラント実証の開始について(6/8) ◆その他 <ul style="list-style-type: none"> ・賃貸管理サポートサービス「まもROOM」の提供を開始(4/8) ・「東京ガスのハウスクリーニング」を開始(5/11) ・太陽光発電と蓄電池で停電対策！「おんじんWでんち」を開始(5/27) ・集合住宅向けEV充電サービスの事業化に向けたユビ電株式会社との資本業務提携について(6/28) ・国内トップシェアのソフトウェア事業の譲渡について日本たばこ産業グループと基本合意(7/8)
脱炭素化 技術開発	<ul style="list-style-type: none"> ・東京ガスとSCREEN、低コストグリーン水素製造に向けた水電解用セルスタックの共同開発に合意(5/26) ・世界初！都市ガス機器利用時の排ガスを利用した「CO2吸収型コンクリート」製造を開始(7/7) ・メカソーラー 実証試験を2021年度内に開始(7/7) ・メガワット級水電解装置を利用した水素実証実験の実施について(7/7)
ESG	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年 新型コロナウイルス感染症拡大に伴うお客さまに対するガスならびに電気料金の特別措置の追加対応について(4/23、5/12、6/14、7/15)
財務・ 株主還元	<ul style="list-style-type: none"> ・自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ(4/28)、自己株式の取得完了(5/19)、自己株式の消却(7/28) ・第67回、第68回、第69回、第70回無償付保株発行のお知らせ(7/7)

*1 東京ガスエンジニアリングソリューションズによるリリース



地域	番号	国名	案件名称	投資分野/投資内容	参加年
北米	1	米国	バーネット	上流 シェールガス	2013
			イーグルフォード	上流 シェールガス	2016
			TGナチュラリソース	上流 シェールガス	2017
			T G E Sアメリカ	中下流 エネルギーサービス	2015
			バースボロー	中下流 天然ガス発電	2017
			アクティナ	中下流 太陽光発電	2020
			アカリオベンチャーズ	その他 オープンイノベーション	2017
			パヒオ	中下流 天然ガス発電	2004
	2	メキシコ	MTファルコン	中下流 天然ガス発電	2010
			エオリオス・エンターヘー	中下流 再生可能エネルギー開発事業 (太陽光・風力)	2019
東南アジア	3	マレーシア	ガスマレーシア	下流 都市ガス	1992
			ガスマレーシアエネルギーアドバンス	中下流 エネルギーサービス	2014
	4	タイ	バンポー	中下流 天然ガス発電	2016
			カルフ・ダブルエイチエー・エムディー	中下流 ガス配給	2018
	5	ベトナム	ファン・バンコク	中下流 地域冷房・配電事業	2020
			ベトロベトナムガス販売	中下流 娯楽・CNG供給	2017
			バンジ・ラヤ・アラミンド	中下流 ガス配給・輸送	2017
6	インドネシア	スーバレー・エナジー	中下流 ガス配給・輸送	2020	
		FGEN LNG	下流 LNG基地建設、運営、メンテナンス	2020	
オセアニア	8	オーストラリア	ダーウイン	上流 天然ガス生産・液化・販売	2003
			ブルート	上流 天然ガス生産・液化・販売	2008
			ゴーゴン	上流 天然ガス生産・液化・販売	2009
			クイーンズランド・カーティス	上流 天然ガス生産・液化・販売	2011
			イクシス	上流 天然ガス生産・液化・販売	2012



<見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替レート変動、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。